



子どもの声に耳を傾け、 学びをしっかりと見取る

子どもたちは、どのように学んでいるのか、何につまずいているのか、どんな考えをもっているのか、話している様子やノートに書いていることから見取っています。一人ひとりが学習していることを大切にしながら、考えを生かす授業を目指しています。



まずは、聴き合うことから

「聴く」とは、話す人の言いたいことを尊重して受け取ることです。「〇〇くんは、何が言いたいのかな。」「なるほど、そう考えたんだね。」とお互いの言いたいことをまずは受け止めることから始めています。

安芸高田市の目指す

「**全ての子どもが参加し、力を伸ばすことができる授業**」を実現するために!



「学び合い」のある 授業を大切に

「学び合い」とは、お互いの考えを聴き合い、自分の考えを確かにしたり、深めたりすることです。ペア学習やグループ学習などを目的に応じて取り入れ、授業の中で全員の子どもが話す場面を作っています。



ペア学習やグループ学習の利点

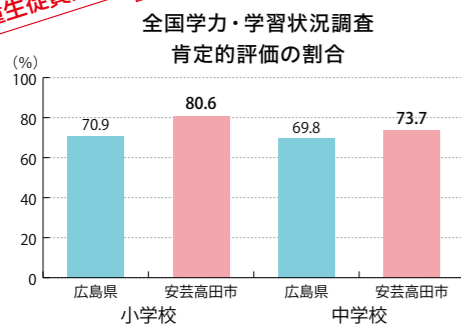
発表の場が保障される

友達に伝えることで、再考する

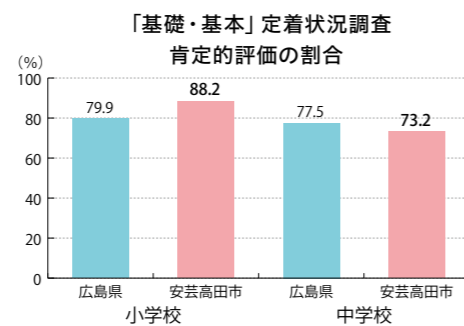
多様な考えにふれ、考えが深められる



児童生徒質問結果



話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできています



友達と話し合うなどして考えを深めたり、広げたりしています

友達と学び合うことについて、子どもたちの肯定的評価が高くなっています。



教育委員会事務局 学校教育課 (電話・お太助フォン) 42-5628 42-4396

安芸高田市
教育委員会事務局

平成29年度実施 学力等調査の結果

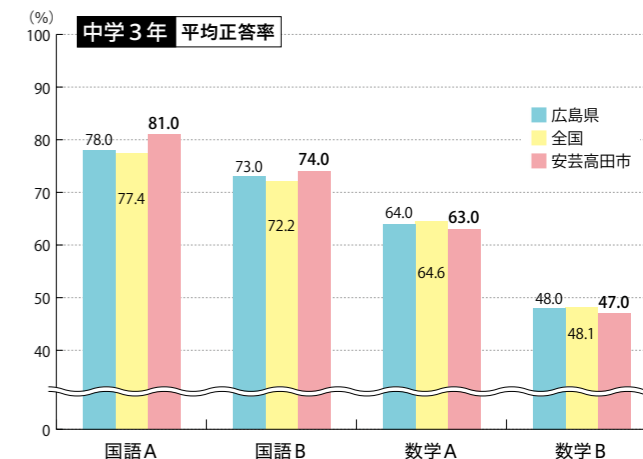
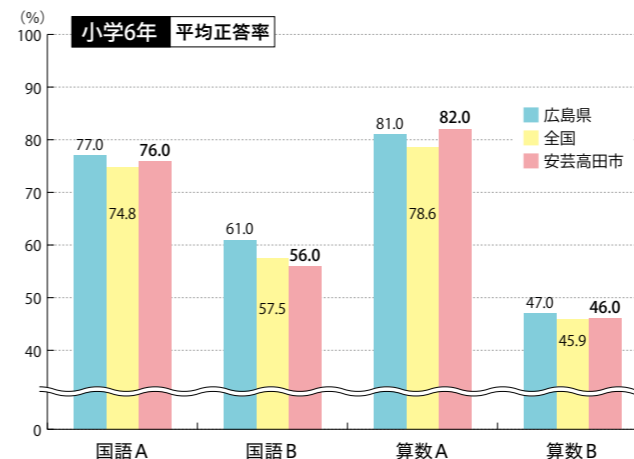
市内小中学生を対象に『全国学力・学習状況調査』、『広島県「基礎・基本」定着状況調査』を実施しました。

4月18日実施 ▶ 全国学力・学習状況調査



全国学力・学習状況調査では、調査の種類が次のように分かれています。

- ・国語A、算数・数学A…主として **知識** に関する問題
- ・国語B、算数・数学B…主として **活用** に関する問題

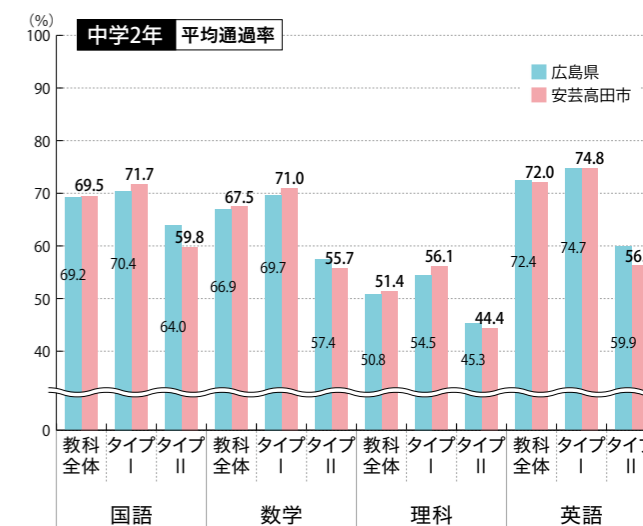
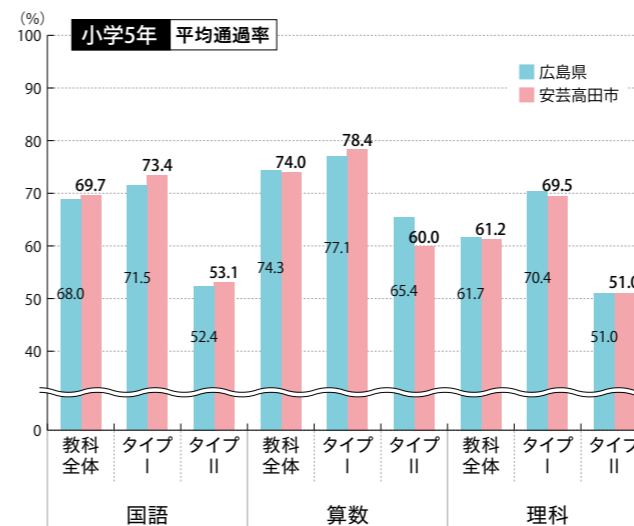


平均正答率…正答している児童生徒の割合

6月13日実施 ▶ 広島県「基礎・基本」定着状況調査

広島県「基礎・基本」定着状況調査では、調査の種類が次のように分かれています。

- ・タイプI…教科で身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼすなどの **基礎的・基本的な内容**
- ・タイプII…教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に **活用する力** などに係る内容



平均通過率…正答、又は準正答している児童生徒の割合

結果から

基礎的・基本的な学習内容は概ね身に付いています(平均通過率、平均正答率が70%を超えている)が、それを活用する問題(特に説明をする問題)において、小中学校ともに課題があることがわかりました。